

〈総会報告〉

令和5年度 EICA 総会・講演会報告

EICA 事務局長 佐藤 圭輔 (立命館大学)

令和5年度 EICA 総会と論文賞表彰式、講演会を対面開催しましたのでその概要を報告します。

【総会と表彰式の開催概要】

開催日：令和5年5月22日(月) 13:00~14:25
会場：品川区立総合区民会館「きゅりあん」6階
大会議室

総 会

第1号議案	令和4年度事業報告
第2号議案	令和4年度決算案及び監査報告
第3号議案	令和5年度事業計画案
第4号議案	令和5年度予算案
第5号議案	令和5年度役員案

選考委員会報告：令和4年度論文賞の選考について
表彰式：令和4年度論文賞

1. 開会の辞と会長挨拶

総会に先立ち、司会の山内進氏(総務委員, ㈱堀場アドバンスドテクノ)から開会の辞があり、出席40名、委任状提出会員73名、合計113名で、会員総数240名の5分の1である48名以上となり、会則第13条により、本総会が有効に成立されたことが報告されました。続いて会長の高岡昌輝先生(京都大学大学院工学研究科)から挨拶がありました。

【開会の挨拶】



高岡昌輝 会長 (京都大学大学院 工学研究科 教授)

2. 議長、議事録署名人の選出

議事の審議に入るに当たり、圓佛伊智朗氏(副会長, ㈱日立製作所)を議長に選出し、総会議案に従い審議が進められ、会則14条により議事録署名者として議長の圓佛氏の他、田子靖章氏(幹事長, メタウォーター㈱)、上野和博氏(副総務委員長, 安川オートメーション・ドライブ㈱)が選任されました。

3. 議案審議

(1) 第1号議案 令和4年度事業報告

議長の指名により、各委員会代表者から令和4年度の事業報告がありました。

総務委員長：鮎川正雄氏

(水ingエンジニアリング㈱)

企画委員長：田所秀之氏(㈱日立製作所)

編集委員長：樋口能士氏(立命館大学理工学部)

各委員長の事業報告後に、議長より第1号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

(2) 第2号議案 令和4年度決算案及び監査報告

議長の指名により、佐藤圭輔氏(事務局長, 立命館大学理工学部)から令和4年度の決算内容について、資料の一部修正(「未来プロジェクト TSUNAGU21 II」は正しくは「未来プロジェクト TSUNAGU21 III」)を含めて説明がありました。続いて、上田修氏(監事, 三菱電機㈱)、橋本征二氏(監事, 立命館大学理工学部)による会計監査の結果について、決算内容が妥当かつ適正であった旨の報告がなされました。

その後、議長より第2号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

(3) 第3号議案 令和5年度事業計画案

議長の指名により、各委員会代表者から令和5年度の活動計画案について説明されました。報告資料について、一部修正(①論文賞を受賞した論文名について、「セラミック平膜ろ過処理システム」は正しくは「セラミック平膜ろ過処理システム」、②学会誌28巻4号の発行予定日について「令和5年3月15日」は正しくは「令和6年3月15日」)の説明も合わせてなされました。

総務委員長：鮎川正雄氏

企画委員長：田所秀之氏

編集委員長：樋口能士氏

その後に、議長より第3号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

(4) 第4号議案 令和5年度予算案

議長の指名により、佐藤圭輔氏から令和5年度予算案について、資料の一部修正（「未来プロジェクト TSUNAGU21 Ⅲ」は正しくは「未来プロジェクト TSUNAGU21 Ⅳ」）を含めて説明がありました。

その後に、議長より第4号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

(5) 第5号議案 令和5年度役員案

議長の指名により、佐藤圭輔氏から評議員41名と幹事2名の選任案について説明されました。

その後に、議長より第5号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

その後、総会は一時中断となり、令和5年度第2回

評議委員会および運営幹事会にて新たな役員、運営幹事および委員案について審議・承認され、その結果が総会にて報告されました。

最後にすべての審議事項について満場異議なく、原案通りに承認され、議長から令和5年度総会が終了したことが宣言されました。総会にご出席いただきました皆様、ありがとうございました。

追伸

令和4年度事業報告として、令和5年2月27日に防災学術連携体が開催した「トルコ・マラッシュ震災に関する緊急報告会」に、中里 EICA 名誉会員が参加したことを追加報告いたします。

4. 選考委員会報告と表彰式

田子靖章氏（選考委員長（幹事長）より令和4年度論文賞の選考結果について報告がありました。引き続き、会長より、論文賞受賞代表者に、賞状、副賞、記念品が贈られました。

【議長と運営幹事らによる議案説明】



左より順に

圓佛伊智朗 議長、副会長（㈱日立製作所）、鮎川正雄 総務委員長（水ingエンジニアリング株式会社）

田所秀之 企画委員長（㈱日立製作所）、樋口能士 編集委員長（立命館大学）、佐藤圭輔 事務局長（立命館大学）

【令和4年度選考委員会報告と論文賞表彰式】



左より順に

田子靖章 選考委員長、幹事長（メタウォーター株式会社）、本間亮介氏（京都大学大学院 工学研究科）

渡部亜由美氏（㈱日立製作所）

〈論文賞〉(2編)

『下水処理水中の残留医薬品類を対象とした光触媒層/セラミック平膜ろ過処理システムの分解モデルの構築』

本間亮介, 竹内 悠, 丹後元秀, 西村文武

(京都大学大学院 工学科研究科)

鮫島正一, 新井喜明 (株明電舎)

『ニューラルネットワークを活用した凝集剤注入率の予測技術の開発』

渡部亜由美, 三宮 豊, 横井浩人, 中村信幸

(株日立製作所)

【講演会の開催概要】

1. 講演①

「EICAの温故知新 — 50年の歩みを振り返って —」と題して、NPO 東京城北環境カウンセラー協議会 理事・顧問、EICA 名誉会員の古里明瑠氏にご講演いただきました。ご講演は、1973年(50年前)に実施されたIAWPR(国際水質汚濁防止連盟=現IWA)のICA(計測制御自動化)ワークショップ第1回国際会議に始まり、その後、ほぼ4年間隔で実施されて続けてきた第9回(2005年釜山大会)までの内容が詳しく紹介されました。このICA国際会議への参画推進と国内招致に向けた国内プレワークショップの動きがその後のEICA設立の契機となったことも紹介され、ICA国際組織との今後の連携強化・再構築に期待するメッセージもいただきました。

2. 講演②

「廃水処理プロセスのモデルシミュレーションとの出会い」と題して、滋賀県立大学 理事長・学長、EICA 名誉会員の井手慎司先生にご講演いただきました。

た。ご講演は、金沢大学時代に取り組んだ研究内容(電気泳動法による下水分析や活性汚泥の糸状体長測定法)から始まり、米国ライス大学(テキサス州ヒューストン)への博士留学に至った経緯やジョンF. アンドリュース先生との出会い、博士論文として取り組んだ嫌気性ろ床のモデリングといった当時の新たなチャレンジなどもご紹介いただきました。学位取得後は、明電舎、国際湖沼環境委員会(ILEC)、滋賀県立大学にて研究を続ける過程で、恩師である松井三郎先生(元EICA会長、名誉会員)やアンドリュース先生(元米国ライス大学教授)との関わりが、ICA/EICAとのご縁につながったこともお話しいただきました。

3. 講演③

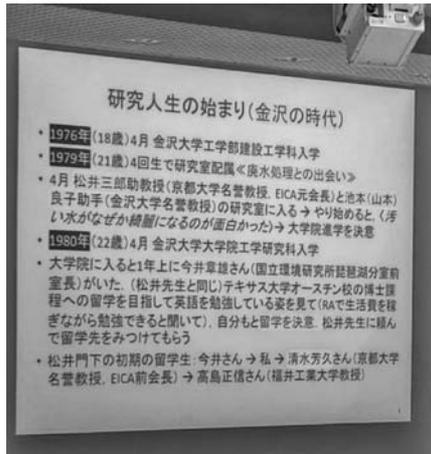
「未来、現在、過去 未来は過去をつくる」と題して、(株)水コン 首席研究員、京都大学名誉教授、EICA 名誉会員の清水芳久先生にご講演いただきました。ご講演は、能登半島での生い立ちと金沢大学進学への偶然の経緯から始まり、その後の米国テキサス大学(テキサス州オースティン)への博士留学中の重大エピソード、学位取得後にハワイで実施された国際学会での寺島教授(京都大学大学院工学研究科)との出会い、京都大学移籍に至った経緯などもご紹介いただきました。恩師である松井三郎先生(元EICA会長、名誉会員)との関わりが、EICAとのご縁につながり、以降20年以上の長きに渡ってEICA幹部職(事務局長、副会長、会長)を歴任され、その中で起こった重大エピソードへの対処などもお話しいただきました。特に力を入れてこられたEICA未来プロジェクトや考古学のご経験を引き合いに、「未来は過去をつくる」というお考えを熱弁され、最後は映像と音楽の演出で講演を終えました。

【講演①「EICA 温故知新 — 50年の歩みを振り返って —」】



古里明瑠氏 (NPO 東京城北環境カウンセラー協議会 理事・顧問, EICA 名誉会員)

【講演②「廃水処理プロセスのモデルシミュレーションとの出会い」】



井手慎司氏（滋賀県立大学 理事長・学長，EICA 名誉会員）

【講演③「未来，現在，過去 未来は過去をつくる」】



清水芳久氏（㈱日水コン首席研究員，京都大学名誉教授，EICA 名誉会員）